

G.メノッティ

# 領 事

Gian-Carlo Menotti  
"The Consul"

(全3幕 英語上演/日本語字幕付/2台ピアノ伴奏)

【公演日時】 2022年7月17日(日)14:00 18日(月・祝)14:00

【会場】新国立劇場 中劇場

## ピューリッツァー音楽賞受賞作品を新制作で！

この夏は、G.メノッティの『領事』を新制作でお届けします。このオペラは1950年に初演され、世界各地で大成功をおさめ、その年のピューリッツァー音楽賞など数々の賞を受賞した作品でもあります。

当公演では、指揮に新国立劇場開場記念公演『建・TAKERU』や『天守物語』を指揮した星出豊が久々に新国立劇場の舞台に登場します。

演出は一昨年度のオペラ研修所修了公演『悩める劇場支配人』で高い評価を得た久恒秀典があたります。

オペラ界で活躍中の修了生や4月に入所したばかりの第25期生も加わり、このシリアスで重厚な作品にチャレンジします。

どんなステージが繰り広げられるか、どうぞご期待ください！

## 公演概要

【公演名】 新国立劇場オペラ研修所 試演会 『領事』

【公演日程・開演時間】 2022年7月17日(日)14:00 18日(月・祝)14:00

【会場】 新国立劇場 中劇場

【チケット料金(税込)】

全席指定 3,300円 Z席 1,650円

○クラブ・ジ・アトレ会員割引含め、各種割引はございません。

【チケット取り扱い】

[新国立劇場ボックスオフィス](#)

Tel.03-5352-9999

## スタッフ・キャスト

【作曲・台本】G.メノッティ

【指揮】星出 豊

【演出】久恒 秀典

【照明】立田 雄士

【音響】河原田 健児

【映像】荒井 雄貴

【衣裳アドバイザー】増田 恵美(モマ・ワークショップ)

【ピアノ】岩渕 慶子 星 和代

【主催】新国立劇場

【出演】

オペラ研修所第23・24・25期生 ▶研修生については[こちら](#)をご覧ください  
(賛助出演)

北川 辰彦(第5期修了)、松中 哲平(第16期修了)、水野 優(第19期修了)

写真のご請求・ご取材のお問い合わせ

公益財団法人新国立劇場運営財団

研修広報・櫻井: Email: [sakurai\\_m7314@nntt.jac.go.jp](mailto:sakurai_m7314@nntt.jac.go.jp)

Tel:03-5352-5772 Fax:03-5352-5766

## ものがたり

早朝、国に反抗する活動家ジョン・ソレルのアパートの一室。突然、負傷したジョンが逃げ帰ってきます。追手の警察官が部屋にやってきたため、妻マグダと母親は彼を屋根裏部屋に匿い、なんとかその場を凌ぎます。ジョンは今夜国境を超えて亡命するので、ある国の領事館に保護を求めるようにマグダに指示します。彼は家族に別れを告げ去っていきます。残されたマグダは、秘書に領事との面会を頼むのですが…。

## キャスト

### ◆7月17日(日)14:00

【マグダ・ソレル(ジョンの妻)】内山 歌寿美

【秘書】杉山 沙織

【ジョン・ソレル】大久保 惇史

【母親】前島 眞奈美

【コフナー氏】北川 辰彦<賛助出演>

【異国の女】河田 まりか

【魔術師(ニカ・マガドフ)】永尾 溪一郎

【アンナ・ゴメス】大高 レナ

【ヴェラ・ボロネル】大城 みなみ

【アッサン】長富 将士

【秘密警察官】松浦 宗梧

【レコードの声】富永 春菜

### ◆7月18日(月・祝)14:00

【マグダ・ソレル(ジョンの妻)】大竹 悠生

【秘書】大城 みなみ

【ジョン・ソレル】佐藤 克彦

【母親】前島 眞奈美

【コフナー氏】松中 哲平<賛助出演>

【異国の女】富永 春菜

【魔術師(ニカ・マガドフ)】水野 優<賛助出演>

【アンナ・ゴメス】野口 真瑚

【ヴェラ・ボロネル】杉山 沙織

【アッサン】長富 将士

【秘密警察官】松浦 宗梧

【レコードの声】河田 まりか

## スタッフ プロフィール

### 【指揮】星出 豊



1966 年渡独、ニュルンベルグ歌劇場のコレパティ・副指揮を努めながら研鑽を積み、1970 年ベートーヴェン生誕 200 年記念コンサートを指揮。1971 年には C.ウェーバー作曲『魔弾の射手』でヨーロッパデビュー。その後、東西ドイツ、スイス、イタリアで演奏活動を行う。以来、ヨーロッパでの演奏の他、日本では、新星日本交響楽団の初代正指揮者、財団理事を 6 年間務めた。オペラの日本初演も多く、『秘密の結婚』、『イル・カンピエッロ』、『ナブッコ』、『妖精ヴィツリ』、『オテロ』(ロッシーニ)、他 11 本。邦人作曲家によるオペラ作品『祝い歌が流れる夜に』、『脳死を越えて』、『天守物語』、『次郎物語』、他 33 本の世界初演を指揮。

1988 年、ポーランド・ワルシャワの秋に参加、ヴィエルキ歌劇場にて『袈裟と盛遠』を指揮。1995 年、イタリア・パルマの王立歌劇場にて『ペトロ岐部』を公演。1997 年、新国立劇場の設立委員を務め、開場記念公演『建・TAKERU』を指揮。新国立劇場研修所の設立に協力し、初代統括主任講師を務めた。2002 年、イタリア・カステルフランコにてデル・モナコ国際コンクールの審査委員を務める。

マンフレッド・グルリッド、ハンス・レーブライン、ハンス・ギールスター諸氏に師事。1991 年ジロー・オペラ賞を指揮者として初の受賞。1984 年大阪NHK制作による「オイディプス王の遍歴」で芸術祭放送賞受賞。現在、藤原歌劇団、日本オペラ協会指揮者、昭和音楽大学客員教授。

### 【演出】久恒 秀典



国際基督教大学教養学部人文科学科卒業後、東宝演劇部専属契約。イタリア政府奨学生としてボローニャ大学、ヴェネツィア大学、マルチェッロ音楽院にてオペラ、演劇学を学ぶ。フェニーチェ劇場公演『ピラモとティスベ』の演出助手を務め、ヴェネト州立カルロ・ゴルドーニ座演劇学校一期生として古典劇、近世仮面劇(コンメディア・デッラルテ)、現代劇を学びディプロマを取得。帰国後は新国立劇場、二期会、藤原歌劇団、東京藝術大学公演の演出補・演出助手として活躍。2004 年、文化庁芸術家在外研修員としてイタリア各地の劇場にて研鑽を積む。

主な演出作品として、『偽のアルレッキーノ』(絨毯座 佐治敬三賞受賞)、『夕鶴』(夕鶴実行委員会)、『リゴレット』、『泣いた赤おに』(東京文化会館)、『イル・カンピエッロ』、(東京藝術大学大学院)、『こうもり』(帯広市民オペラ)、『結婚手形』『なりゆき泥棒』『ドン・ジョヴァンニ』(G.ガッツァニーガ作曲)『悩める劇場支配人』(D.チマローザ)(新国立劇場オペラ研修所)がある。

現在、新国立劇場オペラ研修所、東京藝術大学、東京音楽大学、東京文化会館ワークショップ・リーダー育成プログラム講師、桐朋学園大学招聘演出家。